

ワークショップ「21世紀型科学教育の創造 VII」開催概要

<http://www.sci-edu21.org/>

1. テーマ：「社会につながる科学教育」

2. 開催概要：

主催 21世紀の科学教育を創造する会
後援 日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、
日本ミュージアム・マネジメント学会、日本プラネタリウム協議会、
日本公開天文台協会、筑波大学
日時 2009年12月5日(土)10時～6日(日)14時10分
会場 科学技術館(東京都千代田区)

3. 開催趣旨：

私たちは、2003年にワークショップ「21世紀科学教育の創造」を立ち上げ、今後の科学教育のあり方について議論を重ねてきました。2003年はテーマを「交流(Communication)」として、生涯学習施設、行政、企業などの様々な立場の人々と意見交換を行い、課題を抽出しました。2004年は「科学コミュニケーション」のテーマのもとに科学を文化として捉えるための方策について考えました。2005年は「人々と科学のかかわり(Public Engagement)」として、科学コミュニケーションにおける人々の関わりを中心に21世紀の科学教育のあり方を議論しました。また、2006年「21世紀におけるサイエンスリテラシー(Science Literacy)」：様々な分野の実情・取り組みをもとに、人々が持つことが望ましいサイエンスリテラシーについて今後の長期的方向性を議論し、子どもから大人までの科学・技術に関するリテラシー醸成に果たすシステム構築に向けた成果を得ることができました。2007年「キャリアを拓く科学教育」：職業教育ではない、ライフコースデザインという新しい概念をキーワードに、よりよい人生を自ら切り拓くための科学リテラシーのあり方を論じました。2008年はさらなる飛躍を目指し、「科学教育を通じた地域連携」をテーマにして、科学を気軽に楽しむという感覚から地域の絆を深めることで、科学技術に対する意識の醸成など、科学を文化として社会に根付かせるための方策を論議しました。

本ワークショップの開催とこれまでの議論を通し、私たちは科学コミュニケーションという昨今の科学と社会の関わりの流れに一定の役割を担ってきました。サイエンスカフェなど実践的な取り組みが各地域で数多く開催されるようになってきたことについても、ある程度の貢献をしてきました。

これまで私たちが一貫して試みてきたことは、「科学技術者養成のための科学教育」から「科学リテラシー醸成のための科学教育(対話型科学教育=21世紀の科学教育)」への転換であり、地域の絆を深めるための1つの方途としての科学教育への展開です。すなわち、学校、科学系生涯学習施設、大学、研究機関、メディア、行政、企業、ボランティア活動等において科学教育に関わる方々及び関心のある方々と、さまざまなテーマや観点から意見交換をしてきました。

2009年は、「世界科学者会議」(2003年、ブダペスト)で採択された「社会のための科学技術、社会の中の科学技術」に対応する科学教育を考えるため、全体テーマを「社会につながる科学教育」としました。さらに、学校や生涯学習機関におけるその在り方を詳細に検討するため、グループ討論のテーマとして次の3項目をとりあげます。

社会の中で感性を磨く理科教育 - 感性にうったえる理科教育 -

就活 - 私たちのめざす道 -

いま求められる大人の学び - 大人の社会貢献 -

これらのテーマについて、ワークショップという機能を大いに活用し、共通したテーマを軸にした議論を通じ、さまざまな立場の人が自らの使命や機能を自覚するとともに、参加者すべてが成長する場となるよう計画しています。また、ワークショップという機能を大いに活用し、共通したテーマを軸にした議論を通じ、さまざまな立場の人が自らの使命や機能を自覚するとともに、参加者すべてが成長する場としたいと考えています。

なお、本ワークショップは子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成金の交付を受けて開催する事業です。

4. プログラム(予定):

12月5日(土)

10:00 - 10:30 オリエンテーション

10:30 - 11:50 話題提供

- ・社会の中で感性を磨く理科教育「感性にうったえる理科教育」
大多喜町立老川小学校 永島絹代 先生、横浜市立川井小学校副校長 八嶋真理子 先生
- ・社会につながるキャリア教育「今、学校で行われているキャリア教育」
株式会社リクルートワークス研究所 辰巳哲子 主任研究員

12:00 - 昼食

13:00 - 13:20 話題提供

- ・いま求められる大人の学び - 大人の社会貢献 -
NPO法人 三鷹ネットワーク大学推進機構 大朝摂子 氏

13:30 - 13:50 論点整理

14:00 - 15:50 グループディスカッション その1(自己紹介と課題抽出)

(参加申込時にグループをひとつ選択してください)

- 第1グループ・社会の中で感性を磨く理科教育
- 第2グループ・社会につながるキャリア教育
- 第3グループ・いま求められる大人の学び

16:00 - 17:50 ポスターセッション:「社会につながる科学教育」など

(ポスター発表を希望される方はなるべく11月23日までに申し込みください)

18:00 - 懇親会

12月6日(日)

09:00 - 10:00 各グループディスカッションの前日の内容報告

他のグループでどのようなディスカッションがされているのか情報をシェアします。

10:00 - 12:00 グループディスカッション その2(課題整理)

12:00 - 13:30 昼食

13:00 - 14:10 全体会・まとめ

5. 参加申込: 下記の方法で11月30日(月)までにお申し込みください。

・WEB による方法

「21世紀型科学教育の創造 VII」<http://www.sci-edu21.org/entry.html> よりお申し込みください。

・FAX による方法

参加申込書(別紙・WEBよりダウンロード可)に必要な事項をご記入のうえ、事務局あてにお送りください。

6. 費用: ワークショップ参加費は無料

懇親会に参加される方は参加費として3,500円を当日お支払いください。

* 別途、宿泊・食事等は各自ご予約・負担ください

7. 申し込み後の変更について

会場の都合上、変更は12月3日(木)までに事務局にご連絡ください。

8. 問合せ先: ワークショップ「21世紀型科学教育の創造 VII」事務局

e-mail: office09@sci-edu21.org

FAX: 020-4623-4256

本ワークショップは子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成金を受けて開催する事業です。